

# 平成 29 年度 献血疑似体験イベント「キッズ献血」実施報告書

標記イベントについて、次のとおり実施しましたので、ご報告いたします。

## 1.趣旨・目的

昨今の急速な高齢化の進展により、血液需要が増大する一方、20代や30代の若い世代の献血者が減少傾向にあり、さらに少子化も相俟って、医療を支える血液の確保が危惧される状況となっている。

そこで、神奈川県および神奈川県赤十字血液センターにおいて、献血の将来を担う児童（幼児を含む）を対象に、献血疑似体験イベントを実施し、献血への関心を持っていただくとともに、将来、献血可能年齢に達したときに、献血に協力を得られるようにすることを目的に実施した。

## 2.日時

平成 29 年 8 月 5 日（土）～8 月 6 日（日） 両日 12:00～17:00

## 3.会場

イベント：アリオ橋本 1F グランドガーデン

献 血：アリオ橋本 2F アリオホール

## 4.内容

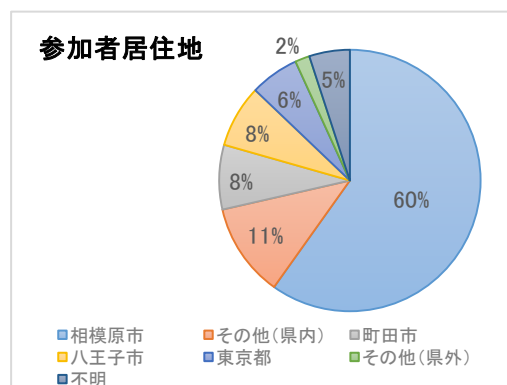
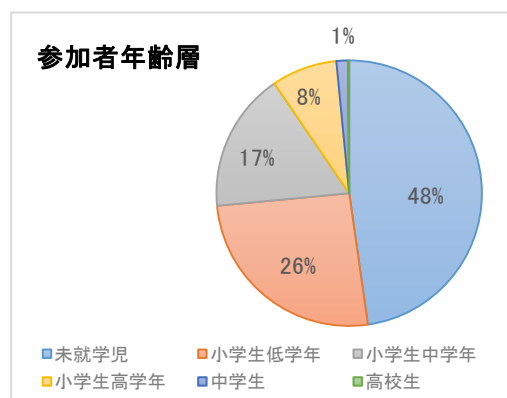
- (1) 献血疑似体験
- (2) 献血の大切さを伝えるパネルの展示
- (3) 本物の注射器を使った針刺し体験
- (4) 医師や看護師の衣装を着て、記念撮影
- (5) 献血の受入れ、お子さまとの献血見学
- (6) 輸血経験者の方による接遇（ご自身の体験を伝え、感謝の気持ちとともに、記念品をお渡しいただく）

## 5.協力（敬称略）

- (1)アリオ橋本
- (2)神奈川県学生献血推進連盟【5日（土）：25人、6日（日）：16人】
- (3)関東甲信越ブロック学生献血推進連盟【6日（日）：21人】

## 6.イベント参加者数

	8月5日（土）	8月6日（日）	合計
子ども	356人	421人	777人
保護者	約362人	約431人	約793人
合計	約718人	約852人	約1,570人



## 7.献血協力者数

	8月5日(土)	8月6日(日)	合計
① 献血受付者数	99人	103人	202人
② 献血者数	65人	71人	136人
内訳【400mL】	57人	66人	123人
【200mL】	8人	5人	13人
③ 献血者数【見学付】 ※①に含む (お子さまの見学者数)	12人 (23人)	17人 (23人)	29人 (46人)
参考：事前献血予約者数 (お子さまの見学予約者数)	13人 (26人)	15人 (21人)	28人 (47人)

## 8.当日の様子



+ 採血ベッドで献血まねっこ体験中+



+ “キッズ献血カード”を持つお子さま+



+ 医師と看護師のコスチュームを着て記念撮影+



+ 輸血経験のある方から、献血者と見学してくれた  
お子さまへ感謝の気持ちを伝える場面+

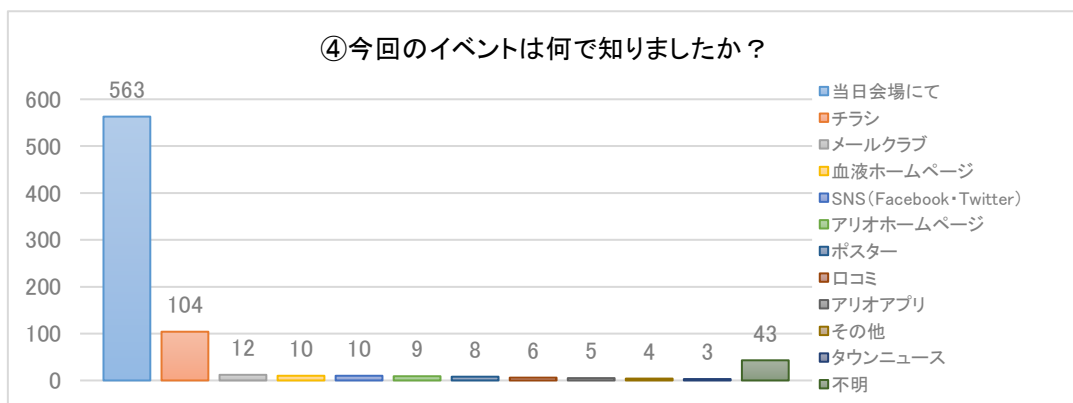
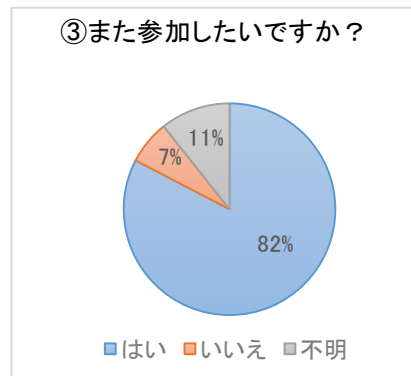
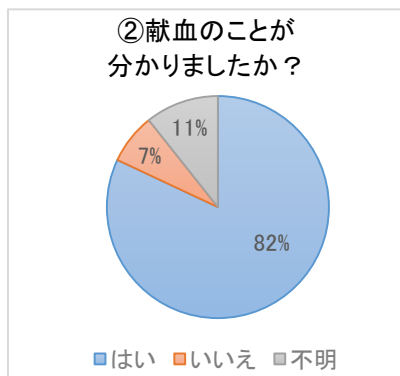
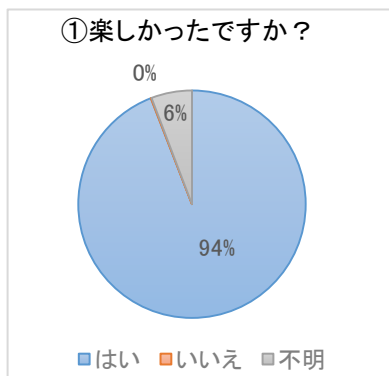


+ 保護者の方が献血する様子を見学するお子さま+



+ 保護者の方が献血した血液バッグを持つお子さま+

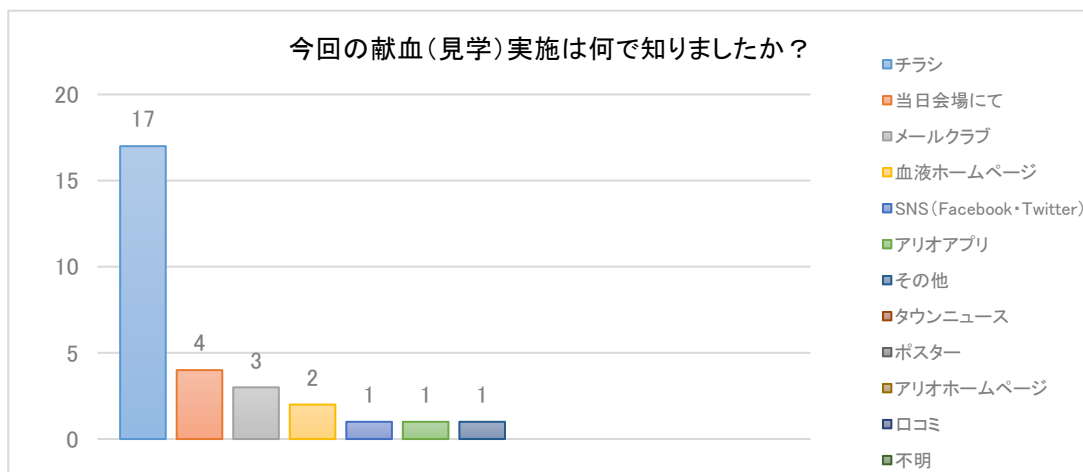
## 9. イベント参加者（お子さま）アンケート集計結果（2日間合計）



### ■ イベント参加者のコメント

- ・献血についてよく分かったし、とても楽しかった！
- ・医療に興味のある子どもが、学校で配布されたチラシを見て、自由研究のためにイベントに参加した。子どもと一緒に親も献血について学べる機会になりました。
- ・子どもの相手をしてくれた学生スタッフの皆さんが、素敵な笑顔で迎えてくれて嬉しかったです。
- ・本物の注射器での針刺し体験は、普段できないとても貴重な体験でした。またやってみたいです。
- ・記念撮影コーナーで、子どもが医師や看護師の衣装を着て撮影できて良かったです。

## 10. 献血者（見学）アンケート集計結果（2日間合計）



## ■献血者・見学してくれたお子さまのコメント

### <献血者（保護者）の方>

- ・血液バッグを触らせてもらったり、子どもが間近で見学できたり、珍しい体験ができて良かった。
- ・実際の献血の場面を見学できるのは、文章等を読むだけよりも頭に残ると思いますし、とても良い経験ができたと思います。少し怖かったようですが。
- ・献血は大切なことで、且つやろうと思えばできることだと知ってほしくて参加しました。大きくなったら、献血に協力してくれるように、記憶として残ってほしいです。
- ・実際に献血の血液（輸血）によって、命を救われた方のお話を直接聴くことができ、とても良かったです。

### <お子さま>

- ・血が温かく、色が黒っぽくて驚いた！
- ・大変だなと思った。人のために偉いなと思った。
- ・献血は人のいのちを救うのだなと思った。
- ・痛そうと思ったけど、あまり痛そうではなかったので、16歳になったらやってみたいと思った。
- ・自分の血で誰かが助かるのは、嬉しいことだと思った。

## 11.広報展開（敬称略）

- (1) イベント告知用チラシの配布 約 39,000 部
  - ・相模原市内の小学校全校生徒あてに配布
  - ・県内献血会場で配布
  - ・県内赤十字施設で配架
- (2) 神奈川県、神奈川県赤十字血液センターホームページにてイベント情報を掲載
- (3) 神奈川県赤十字血液センター公式 Facebook・Twitter にて、イベント情報の広告を投稿
- (4) かながわ献血メールクラブ会員あてに、お知らせを配信 約 10,514 件
  - ・相模原市、愛川町、厚木市、座間市、綾瀬市、大和市、海老名市、横浜市（瀬谷区・緑区・旭区）  
在住の 25～64 歳の方
- (5) アリオ橋本 公式ホームページ・アプリにて、イベント情報を掲載
- (6) タウンニュースさがみはら中央区版・南区版に、イベント情報の広告を出稿
- (7) PLANET かながわホームページ 「夏休みかながわ子どもワクワク体験」のページへ  
イベント情報を掲載
- (8) 県政記者クラブ・相模原市政クラブを通して、ニュースリリースを発出（取材件数：0 件）